

クラブ活動終了 ~ 地域講師の皆様方のご指導に心より感謝! ~

17日(月)で、本年度のクラブ活動が終了しました。本校では、4年生以上の児童が、下記の12のクラブに分かれて活動しています。

理科、工作・木工、料理、焼き物、マンガ・イラスト、パソコン、手芸・編み物、歴史探検、陸上・ニュースポーツ、卓球、ソフトバレーボール、生け花

本年度は、1回50分間の活動を9回実施することができました。

特に、次の5つのクラブは、地域の講師の方々をお招きし、指導にご協力をいただくことで、児童の興味に応じた活動を展開することができました。



歴史探検 屋代の町を巡り、その場所に立って楽しく歴史を学ぶことができました。



生け花 3人の先生が来てくださり、一人ひとりに手ほどきをしてくださいました。



理科 毎回自作の実験器具をお持ちいただき、理科の面白さを教えてくださいました。



工作・木工 材料の用意までしていただき、作る楽しさを体験させていただきました。



手芸・編み物 子どもが満足 of いく作品になるまで、手を貸していただきました。

活動の中で、子どもたちは自分の名前を覚えてもらい、呼んでもらえるようになりました。そのことが、活動の楽しさを感じるだけでなく、自分自身が認められたという喜びにつながったと思います。

本校は、「**地域の人と豊かにつながり、地域の歴史・文化や自然に学ぶ学校づくり**」を目指しています。クラブ活動でも、このことが実現できました。地域講師の方々、子どもたちのために、ご協力ありがとうございました。



兄弟間では同じように努力してもできない子がいて、それをどちらも許容すると、兄弟間で不信感が出ないでしょうか？



兄弟姉妹、同じ親から生まれ、同じ環境で、同じように育てたつもりなのに、なぜこんなにも違うものか？

私自身も、そう感じています。一人ひとり、性格も能力もいろいろです。得意不得意も違います。

「どちらがすぐれているか？」

「あの子はできるのに、どうしてこの子はできないのか？」

そうした比較をしていると、どうしてもできない子どもの方に、ついつい一言多くなってしまいます。比較され、下に見られがちなのは、やりきれない思いで、毎日家族と過ごしていることでしょう。

親は、兄弟姉妹に平等に接していくことが大切だと思っています。それでは、子どもはどうでしょうか。**子どもは、大好きな親に自分が一番愛されたいと願っている**のではないのでしょうか。

私の母は、私が小さいころ、よく「兄弟はどちらも大事だけれど、長男のお前のことが一番大事だ」とそっと言ってくれました。私は、自分が一番愛されているのだと、とても安心していました。

弟に、母は何と言っていたのかは、知りません。しかし、もし、弟が自分は兄よりも愛されていないと感じていたなら、今、母親と一緒に暮らしてはいいないでしょう（長男の私が家を出て、二男があとをとっています）。ですから、母は、弟にも似たようなことを言っていたのに違いありません。

よいところは、この子が努力したから…。悪いところは、親に似たから…。そう考えると、子どもは親以上に育っているように思えてきます。



あなたが一番大好き！

よいところも悪いところもあるこの子を、心の底から愛せるのは、親以外にありません。わが子一人ひとりに、「**あなたのことを世界で一番愛しています**」と伝えてあげましょう。兄弟姉妹全員が、自分こそ親から特別に愛されていると感じることで、情緒が安定します。

兄弟姉妹、今は顔を合わせればけんかばかりしていても、大きくなったときは、仲のよい一番頼りになる関係になれるよう、育ててあげてください。